



TITLE:

彗星だより

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彗星だより. 天界 1927, 7(74): 211-211

ISSUE DATE:

1927-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161106>

RIGHT:

# 彗星だより

**1927a 彗星** この彗星発見者のブラサ  
 ヲイト (Blathwayt) 氏は昨年 1 月 16 日  
 に新しい彗星を発見した人で、南半球で  
 はこの節は夏の盛りだから、暑い折に折  
 角彗星探しに勉強して後は涼しい顔をし  
 てゐるのも甚だ工合がいいことである。  
 大略の位置は(本會アレチン 102 號参照)  
 日附(萬國時) 赤經 赤緯 光級

年	月	日	h	m	s	光級
1927	4	19	2	34.1	—27°42'	10.2
	5	5	2	50.8	—22 7	10.7
	21	3	3.9	—18 11		11.1
	6	6	3	14.1	—15 27	11.4
	22	3	21.3	—13 40		11.6

**1927b 彗星** これも亦可なり南方に出  
 現したものである。しかも尙ほ當時は南  
 の方へ動いてゐたものであつたから、發  
 見の電報が來ず 國際天文同盟の回報 135  
 號が到着して初めて知れた譯である。ケ  
 ープからの知らせによる彗星軌道の要素  
 は

T 1926 12 月 30.54 U. T.  
 $\omega$  224°45'  
 $\Omega$  108 42 } 1927.0  
*i* 83 40  
*q* 0.7534

さいふ譯で近日點は既に昨年通過して終  
 つた筈で、又地球からも段々遠ざかつて  
 いつてゐるのである。しかし発見の時に  
 は何しろ八等級ださいふから素敵なもの  
 である。

**1927c ポンウインネク彗星** この彗星が  
 本年 6 月 25 日頃にわが地球に最も近づ  
 き、しかも地球太陽間の距離の約 20 分の  
 一即ち七百萬キロメートル位にまで接近  
 するさいふこまはマーフキールド氏が計  
 算した軌道要素から推算しうる譯で(本  
 會アレチン第 103 號、天文年鑑参照)従つ  
 て一般に非常に期待を以て待ち受けられ  
 たのであるが、早くも 3 月 3 日ヤーキース  
 天文台のバンビースブルク教授が見付け  
 も見付けたり光級 16 等さいふのを発見し  
 たのである。その位置(1927.0)は観測時  
 刻 3 月 8.4302 萬國時對して

赤經=14 12 20.4 赤緯=+25°45'24"

であつた。

カリニツチのクロンメルン氏はこの觀測  
 マーフキールド氏の計算を参照し合は  
 せて次の様な軌道要素を求めてゐる。

T 1927 年 6 月 21.日 1564 U. T  
 $\omega$  170°22' 50.0"  
 $\Omega$  98 10 0.0 } 1927.0  
*i* 18 57 0.0  
 $\varphi$  43 16 54.3  
 $\log \alpha$  0.519242  
 $\log q$  0.016840  
 周期 6.00983 年

それで 6 月 27 日に地球に最近となり、やが  
 て六百萬キロメートル位の間近かに接近  
 するさいふ譯であるが、まだまだ當分の  
 間は大きな口径の望遠鏡でなくては觀測  
 は六ケしいであらう。五月になれば相當  
 の望遠鏡ならば容易に認めることが出る  
 様になるだらうが、最接近の時き雖も肉  
 眼で見える望みはないらしい。前號の挿  
 繪に少しく説明を加へるこの彗星の軌  
 道は近日點附近で黃道面を北から南へ通  
 過してゐる。又地球はこの彗星軌道の内  
 側を運行してゐることであるから、彗星  
 の近日點附近で兩者の軌道が舷々相摩す  
 るさいふこまが知られるであらう。それ  
 で上の二つの事實からこの彗星が近日點  
 を通過する頃には餘程地球の軌道へ近  
 づくさいふこまが了解せられるに相違な  
 い。ところで本年はその上に地球が丁度  
 その問題の地點にゐる頃に彗星が近日點  
 へ歸つて來るさいふ三拍子揃つた事實に  
 よつて破格的接近さいふこまが起るので  
 ある。

**1927d 彗星** ポン・ウインネク彗星の  
 発見は既に 3 月 3 日であつたのだから、彗  
 星の名前はこのウインネク彗星に興へる  
 べきもので、従つてステアンスの発見し  
 た彗星は 1927d 彗星さなるのである。  
 尙ほ本誌前號に報ぜられた発見當時の位

置は赤經=15 16 6 赤緯=7°21' 43"  
 である。